

★ 釜ヶ崎夜間学校 34回 原稿募集

5/28 今晚7時より『喜望の家』一階にて テーマ『外国のスラム』 広い視野から釜ヶ崎を見つめ直そう!

釜ヶ崎は日本で最大のスラムだと言われている。一もっとも厳密には釜ヶ崎はもはやスラムではない。なぜなら普通スラムの特徴として上げられる不良住宅の密集や家族単位の生活が見られないからだ。だから釜ヶ崎は下層労働者の街である。

このようなスラムは資本主義の国ではどこにでもあり、特に東南アジアや南米、アフリカなどの低開発国には多い。

〔原稿〕釜ヶ崎夜間学校とは――
我々が釜ヶ崎で、あるいは日雇労働者として生活していく中で、誰でもがいつかは必ずぶつかる、一人の問題であると同時に皆の問題でもある仕事や病気の問題等を、皆の力で解決してい

これまで釜ヶ崎にも東南アジアから何んかの人々が来たが、彼らはまず日本のように産業が発達した国にも釜ヶ崎のような所があるのを知ってびっくりする。

その次に彼らが驚くのは、仕事にアプした時に雇用保険がもらえることだ。

しかし、冬などは青カンする労働者が多いと言う話をすると、東南アジアではとても考えられないと言う。むしろでは、不法占拠した土地であったり

く為に、先生と生徒の関係ではなく、皆が生徒で先生でもあると言う対等な関係の中で、互いの知識と経験を通して考え学び合う自由な場です。

是非多くの仲間が参加して下さい。又、運営にも積極的に参加して下さい。

バラックであつても、一応家があるからだ。もちろん屋根だけでもあれば何とかしのげると言う気候の違いが多いにある。

それにもかかわらず、仕事(内容やアフレなど)や社会的地位、スラムがつくられる過程には共通するところも多い。

そこで今回は、スライドも見たりしながら、東南アジアのスラムとの比較の中で、釜ヶ崎をとらえかえして見たいと思う。

多くの仲間の参加を待っている。

6月の予定

- 4日(木) 取業病
- 11日(木) 労働
- 18日(木) 運営委員会
- 25日(木) 釜ヶ崎の歴史

原稿募集!!

夜間学校に対する意見や、日頃感じている事を是非寄せ下さい。

（仮称）釜ヶ崎夜間学校ニュース

『仕事がない どうしてシノイでいくか』 第33回 報告

どう生ぐさいたたか

生きる 訴え

死ねといふことか!!

「センターのシャツターは五時
にあくが、もうその時には遅い
くらいに朝早くに仕事が決まっ
てしまう」

「とにかく仕事がないのはしん
どいわ」

「どう生ぐさい戦争や」

「わしらに死ねといふことか」

「なんで仕事が少ないのか」

「鈴木内閣は公共事業を減らし
た。その代り防衛費へ廻って
くんやろ」

「飯場に行くしかがない。しかし
飯場に行っても毎日仕事させて
くれないところもある。若いも
んばかりに仕事の指名をして、
年とった人はごろごろしたり追
いかえされたりしている。仕事
がない時期には、おやじがつけ
あがる」

《仕事保障》 《生命優先》

「ダンボールひろいも多くなっ
たが、一キロ九円ぐらいで安い」

「盗っ人をやるわけにもいかん」

「何人死ぬやろかという話が出
ている」

「火つけてとやしたろかという
声もよく聞くようになった」

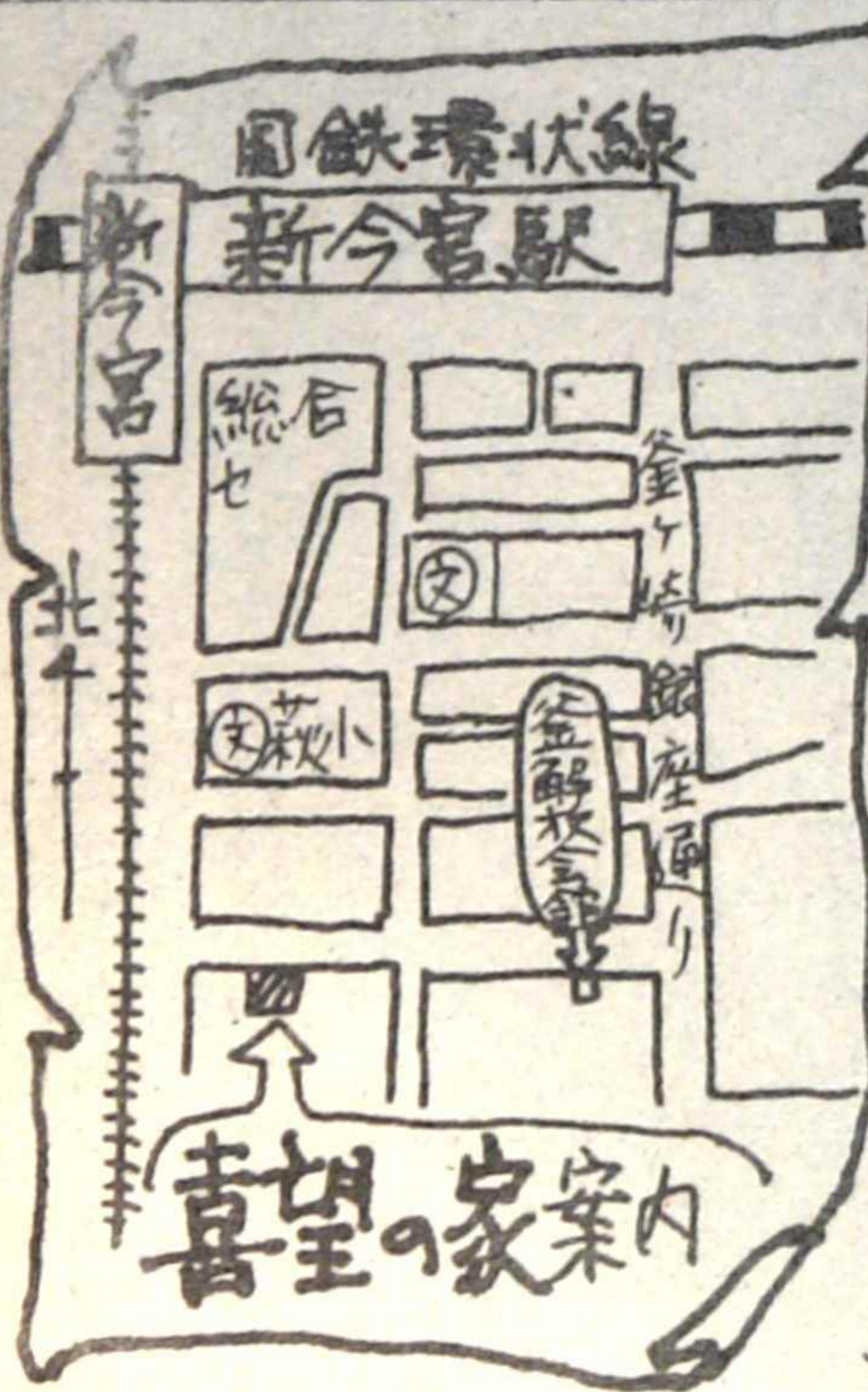
「老人や病気の人は特にこたえ
るやろ」

「死んでいく人を見てはおれん
非常時やから」

認定は20日でも!!

「認定でなんとかシノイげるか、
こう仕事がないと印紙がたまら
ん。非常時やから二ヶ月に二の
日七かに少なくしたらどうや。
年令別にして、年とった人はそ
の分衆になるような対策もたて
て欲しい。」

「釜ではだいたい梅雨どきには
仕事が少ないのはあたりまえ。」



釜の茶屋ニ、ハ、ハ、ハ、喜望の家内
電話(一〇六)六四七、三九四六
(毎週木曜日夜七時〜十時の間に)

「みんながつくるみんなのふるま」
（仮称）釜ヶ崎夜間学校
運営委員会準備会

「そんな精神主義では生きられ
ん。もつと仕事の無い苦しさと
たたかっていかんと」

「健保で印紙がはってないとハ
ネられた。ちやんと仕事に行っ
てるのに。変にしめつけが厳し
い。玉出はよけりにきついらし
い。この際とつと生命優先であ
れ」

「今年梅雨に入る前から仕事
が少ないだけで、自分でちやんと
対策を立てるとかんといかん。そ
ういう心がけが大切なんとちが
うかな」